

## 日本での交換留学

サピエンツァ大学  
ムッチ・フランチェスカ

日本へ来ることは子供の頃から私の夢でした。8歳の時、父は剣道をやり始めて武道のために日本に来ました。ここに一ヶ月しかいませんでしたが、帰った時たくさんお土産を持ち帰ってそんな不思議で素晴らしいものを見た途端、いつか私も日本へ行くことに決めました。ですから、父のように私も武道、特に空手をやり始めて高校を卒業してから大学で日本語と日本文化を勉強することにしました。

ここに来て5ヶ月しか経っていません。しかし、たくさん新しい経験や面白いことをする機会がありました。東京の名所を歩きながら絵具で色々な絵を描いてたくさん写真を取りました。そしてたくさんの友達を作って一緒に美味しい料理を作ったり、映画を見たり、祭りに行ったりしました。友達のおかげで様々な文化について面白いことや習慣が学べるようになって私の心を開きました。そして、日本へ来てから一人暮らしを始めました。こんな新しく大切な経験から多くのことを学んだと思います。

日常生活や友達といるだけではなくてお茶の水大学に受けた授業もとても楽しかったです。今学期の授業はとても面白かったです。主に文法を勉強して、少し難しくても先生の明らかな説明のおかげで私の日本語の能力は前に比べるともっと高くなったと思います。実は、日本へ来たばかりの時コンビニの店員に言われたことでさえ理解できませんでした。でも、今映画館に行ったら日本語で字幕のない映画も見えるようになって嬉しいです。それから、文化やポップカルチャーのコースのおかげで日本語の能力の他に日本の文化に関する知識もだんだん増えてきました。ですから、先生たちはいろいろな新しく面白いことを教えてくださって感謝しています。



最後に、お茶の水女子大学の生活について話したいと思っています。音羽館に住んでいますのでキャンパス内で多くの時間を過ごします。寮の中でよく使っている休

憩室がたくさんあります。キッチンルームやフィットネススタジオやシアタールームなどもあって、そこでトレーニングができたり友達と料理を作ったり映画を見たりします。そして、勉強部屋もいっぱいあり、皆一緒に住んでいますので勉強のついでに友達に会う可能性は高く一緒に勉強するのはいつも楽しいです。寮に働いている人もとても優しく、日本へ来たばかりの時書類と困ったことを手伝ってくれて心から感謝しています。